

○元気がよみがえる気持ちの良い季節

子どもたちは「ミニ運動会ごっこ」を楽しんでいます。ただしコロナ禍の中です。ご用心、ご用心。

10月も健康、衛生面に注意しながら保育を進めます。

○思いやりは想像力。

ずっと以前に映画化され、皆さんご存じの「赤毛のアン」の口癖は「想像力を少し働かすことができるはずよ」。

彼女にとって一番嫌なことは、自分の髪について言われること。「赤毛だとか人參だとか」友人や隣人に言われると、パニックになり、泣きじゃくり、沈み込んでしまうのです。そして「想像力があれば分るはずよ。自分がどんなにひどいことを言ったか、逆に自分に向かって同じことを言われるとどんなに傷つくかってね」。これが彼女の言い分。

○「相手の身になって想像してみる」

相手の立場に身をおいてみる。相手の気持ちになって考える。子どもの側に立って想像する。・・・これはもっとも人間らしい心の働きではありますね。・・・ところが毎日の生活の中では忘れがち、後回しにしがちな部分ではないでしょうか。実際には実行できそうにありません。何かにつけ、まず自分の思いが先。」「つい言ってしまった」「また言っちゃった」の繰り返し。相手の心のうちまで思い至らず、どんどん時間は過ぎていきます。少しさみしいですね、少し悲しいですね。子どもは大人に反論できません。

○「たかが物語の世界？」

孤児であるアンは空想したり、思ったことをすぐ実行したり、活発な子ども。どんな境遇の中でも、常に自分であろうと努力しながら精一杯前向きに生きていくのです。彼女の人生は新鮮な力でみなぎっています。

.....

“<sup>むじひ</sup>無慈悲、<sup>いきどお</sup>憤り、<sup>いか</sup>怒り、わめき、そしりなどすべてを、  
一切の悪意と一緒に捨て去りなさい。互いに親切にし、  
憐みの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦して  
くださったように、あなたがたも互いに赦しあいなさい。”